

多職種連携シリーズ研修 成果報告書
介護福祉士による他職種連携研修ガイドライン
参考資料編

令和 7 年 3 月 福岡県介護福祉士会

【開催要綱】

多職種連携シリーズ研修 連携を深め利用者支援をパワーアップする為に】

近年複雑・多様なニーズを抱えるご利用者への支援を行うために、多職種連携の必要性が特に言われています。施設内でのカンファレンス・地域ケア会議・認定審査会等での多職種との方との連携の機会が増えてきているのではないのでしょうか。現場では、介護のみでは対応できない生活支援場面も出てきていると言われます。そのような時に、「連携が必要だけれど、他の専門職種の役割や、何をどのように分担し、どう連携を進めて行くのか、十分に組み合っていない」と悩まれる場面はないのでしょうか。

そこで今年度当会では、多職種団体から見た介護福祉士との連携について必要な学びをシリーズ化し、本研修を実施致します。右表のとおり、福岡県内の多職種の講師に講義をお願いしております。この機会に現在介護現場で求められている利用者へのより良い支援につながる連携について見直してみませんか。

記

《日 程》	右表参照
《研修内容》	右表参照（一部内容を変更する場合があります）
《研修会場》	右表参照
《 受講料 》 回	福岡県介護福祉士会会員・賛助会員・学生：無料 非会員：2,000円／
《募集人員》	30名程度（申込多数の場合はお断りすることがあります）
《申込方法》	裏面申込書に必要事項を記入して当会まで FAX 又は郵送にてお申込み下さい。 （申込書に不備があった場合は受講受付ができないことがあります）
《申込締切》	各研修開催日の1週間前まで（但し、定員になり次第締め切ります）
《受講決定》	定員超過にてお断りする場合のみ、事務局からご連絡いたします。 定員超過の場合は当会会員を優先させていただきます。
《 その他 》	・駐車場の減免等はありません。公共交通機関でお越しください。 ・本研修は、日本介護福祉士会が定める生涯研修手帳ポイント対象研修です。 ・新型コロナウイルスの感染拡大状況等によって、研修の中止または延期をする場合があります。その場合は「日中連絡が取れる番号」へご連絡します。またホームページにも掲載いたします。 ・ご参加の際のマスク着用、手指消毒等のご協力をお願いすることがあります。

【カリキュラム】※一部変更する場合もあります。

日 時	担当講師・研修内容・研修会場
令和 5 年 8 月 20 日（日） 10：00～12：00	【講 師】公益社団法人 福岡県理学療法士会 氏（公益社団法人福岡県理学療法士会 副会長） 【内 容】理学療法士と介護福祉士の連携について 腰痛にならない介護の仕方 理学療法士から望むこと 【会 場】福岡県介護福祉士会 研修室 ※会場を変更しました (福岡市博多区博多駅東 1-1-16-2F)
9 月 23 日（土・祝） 10：00～12：00	【講 師】公益社団法人福岡県介護支援専門員協会 氏（公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会 常任理事） 【内 容】介護支援専門員と介護福祉士の連携について 介護支援専門員との連携の方法について ケアマネジメントと介護過程の連携時に必要な項目や視点について アセスメントにおける視点について介護福祉士に望むこと 【会 場】福岡介護福祉専門学校 (福岡市博多区千代 1 丁目 3 0 - 2 5 ケアスタ福岡 2 F)
10 月 21 日（土） 14：00～16：00	【講 師】公益社団法人福岡県看護協会 氏（福岡県看護協会推薦 大学 准教授） 【内 容】看護師と介護福祉士の連携について（施設・在宅における課題と其 最新知識・技術について 身体面の異変・異常の早期発見の方法について 看護過程の展開と介護過程の展開の連携方法について 【会 場】福岡県介護福祉士会 研修室 (福岡市博多区博多駅東 1-1-16-2F)
11 月 14 日（火） 10：00～12：00	【講 師】福岡県老人福祉施設協議会 氏（福岡県老人福祉施設協議会 次世代部会 部会） 【内 容】多職種連携の好事例について A I、I C T、ロボットで変わる介護現場、その中で介護福祉士に 問われるものとは 【会 場】福岡県介護福祉士会 研修室 (福岡市博多区博多駅東 1-1-16-2F)
12 月 17 日（日） 10：00～12：00	【講 師】公益社団法人福岡県薬剤師会 氏（公益社団法人福岡県薬剤師会 常務理事） 【内 容】薬の最新知識 介護福祉士として身につけておくべき薬の投薬方法 薬の構造や副作用における注意点と利用者の観察の視点 施設介護・在宅介護における薬剤師との連携について 【会 場】福岡県介護福祉士会 研修室 (福岡市博多区博多駅東 1-1-16-2F)

【申し込み先】公益社団法人 福岡県介護福祉士会行き（FAX ）

※送り状は不要です

多職種連携シリーズ研修 申込書

ふりがな		・会 員（４０）
氏 名		・賛助会員（） ・学 生（学校名） ・非 会 員
自宅住所	〒	
連絡先 (日中連絡が取れる番号)	TEL	FAX
勤務先名		
受 講 日	科 目 名	受講希望日 (○をつけて下さい)
８月２０日（日）	理学療法士と介護福祉士の連携について	
９月２３日（土・祝）	介護支援専門員と介護福祉士の連携について	
１０月２１日（土）	看護師と介護福祉士の連携について	
１１月１４日（火）	多職種連携の好事例について	
１２月１７日（日）	施設介護・在宅介護における薬剤師との連携について	
備 考 欄		

※上記申込書は全ての欄に記入をお願いします。記入がない場合は受け付けられない場合があります。

※氏名・ふりがなは、わかるように正しく記入して頂きますようお願いいたします。

※開催要綱の内容をご確認・ご承諾の上、お申し込み下さい。

※申込書は本研修以外の目的では使用致しません。

公益社団法人 福岡県看護協会
会長 様

公益社団法人 福岡県介護福祉士会
会 長 江 口 賀 子

多職種連携シリーズ研修 第1回意見交換会開催について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から福岡県介護福祉士会の活動にご理解ご尽力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、当会ではこの度、他分野の専門知識の獲得や、連携を目的として「多職種連携シリーズ研修」を開催することとなりました。つきましてはぜひ貴団体に講師派遣を賜りたいと考えております。本会が考えている内容は別紙の通りです。

研修の開催に先駆け、各団体様との意見交換会を下記のとおり開催させて頂きたいと存じます。大変お忙しい中、また急な開催となり恐縮ではございますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

記

日 時 : 令和〇年〇月〇日（日） 10:00～11:30（予定）

場 所 : 公益社団法人福岡県介護福祉士会 研修室
（福岡市博多区博多駅東 1-1-16-2F）別紙地図参照

内 容 : 本研修のねらい及び概要説明
スケジュール及び講義内容案提示
意見交換（本研修について、多職種連携について本会に望むもの） 他

ご参加団体 : 公益社団法人 福岡県看護協会 様
公益社団法人 福岡県理学療法士会 様
公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会 様
公益社団法人 福岡県薬剤師会 様
福岡県老人福祉施設協議会 様 （予定・順不同）

その他 : ・当日は交通費等をお渡しいたしますのでご印鑑をお持ちください。
・別紙返信用紙にてご出席予定の方のお名前をご連絡くださいますようお願い申し上げます。

以上

【講師依頼文章】

公社福介福第 号
令和 年 月 日

公益社団法人 ●○協会
会長 様

公益社団法人 福岡県介護福祉士会
会長 江口 賀子

講師派遣依頼について（お願い）

拝啓 時下ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

平素より福岡県介護福祉士会の活動にご理解・ご協力を頂き深く感謝申し上げます。

さて、本会では今年度、他分野の専門知識の獲得や、連携を目的として「多職種連携シリーズ研修」を開催することとなりました。

つきましては、研修会の講師として貴会の会員様をご派遣頂きたい、ご多忙の折誠に恐縮に存じますが、趣旨ご賢察の上特段のご配慮をお願い申し上げます。

敬具

記

日 時 令和○年○月○日（○） 14時～16時 もしくは
令和○年○月○日（○） 10時～12時
2時間程度（別途調整予定）

場 所 博多バスターミナルホール
（福岡市博多区博多駅中央街2-1 9F）

内 容 「多職種連携シリーズ研修」
○○○と介護福祉士の連携について 等（別紙要綱案参照）

p. 7 対 象 者 主に福岡県介護福祉士会会員 50名程度

補足資料

資料 1 事業実施報告

資料 2 事前・事後アンケート

資料 3 アンケート結果

資料 1

1 事業実施内容

【事業の概要について】

介護福祉士を含む介護職が連携する多くの専門職の立場から、介護福祉士に期待される役割や、備えて欲しい知識・技術等について学びを得るモデル研修を行い、その効果検証を行ったうえで、当該研修のガイドラインを作成する。

- ① 多団体等の専門領域に関する研修を実施する。
- ② 研修前後に行う各団体との意見交換会で、相互の団体の専門知識を学び合うとともに、団体同士または職種間の連携の在り方についても意見交換を行う。

【事業実施期間】

令和 5 年 5 月 21 日

令和 5 年 5 月 21 日（日）意見交換会開催

【出席者】

公益社団法人 福岡県理学療法士会	副会長
公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会	常任理事
公益社団法人 福岡県薬剤師会	常務理事
福岡県老人福祉施設協議会	副会長
公益社団法人 福岡県介護福祉士会	会長 副会長 事務局

【内容】

多職種連携シリーズについての説明

意見交換会：本研修について、多職種連携について本会に望むもの

6 月～ 多職種連携シリーズ研修 受講者募集

8 月～ 多職種連携シリーズ研修第 1 回目受講者申込

第 1 回 8 月 20 日（日）

【講師】公益社団法人 福岡県理学療法士会 （公益社団法人福岡県理学療法士会 副会長）

【内 容】理学療法士と介護福祉士の連携について

腰痛にならない介護の仕方

理学療法士から望むこと

【参加者】15 名

第2回 9月23日（土・祝）

【講 師】公益社団法人福岡県介護支援専門員協会（公益社団法人 福岡県介護支援専門員協会 常任理事）

【内 容】介護支援専門員と介護福祉士の連携について

介護支援専門員との連携の方法について

ケアマネジメントと介護過程の連携時に必要な項目や視点について

アセスメントにおける視点について介護福祉士に望むこと

【参加者数】14名

第3回 10月21日（土）

【講 師】公益社団法人福岡県看護協会 （西九州大学 准教授）

【内 容】看護師と介護福祉士の連携について（施設・在宅における課題と期待）

最新知識・技術について

身体面の異変・異常の早期発見の方法について

看護過程の展開と介護過程の展開の連携方法

について

【参加者】15名

第4回 11月14日（火）老人福祉施設協議会

【講 師】福岡県老人福祉施設協議会 業務執行委員（次世代部会部会長）

【内 容】多職種連携の好事例について

AI、ICT、ロボットで変わる介護現場、その中で介護福祉士に問われるものとは～専門性とDXを取り入れた多職種連携～

【参加者】12名

第5回 12月7日（日）

【講 師】公益社団法人福岡県薬剤師会 （公益社団法人福岡県薬剤師会 常務理事）

【内 容】薬の最新知識

介護福祉士として身につけておくべき薬の

投薬方法

薬の構造や副作用における注意点と利用者の

観察の視点

施設介護・在宅介護における薬剤師との連携

について

【参加者数】15名

【事業の目標及び得られた効果について】

1 介護福祉の専門職が自らの役割を認識し、多職種連携の中で、自信をもって役割を担うことができる介護福祉士を育成するための効果的な研修ガイドラインを構築する。

⇒ 多職種連携の研修を実施。各領域からの介護福祉士との連携について研修を行った。

各職種からとらえている介護福祉士が知っていて欲しい知識についての講義内容を実施していただいた。

また、連携について、具体的に伝えてもらうことができ、受講者の知識を得たことについての満足度は一定評価を得た。しかしながら、各回15名前後の参加であり、研修ガイドラインの構築までには及ばなかった。

2 当該ガイドラインを周知することで、多職種連携を図ることができる人材を育成する道筋を構築する。

⇒ 研修において、15名程度の参加者であることを考えると、ガイドラインの構築が検討中であり、周知にまでは届いていない。

他職種連携が必要と言われるが、施設等での知識普及及び基本的な部分をもう少し整理する必要があることが理解できたにとどまる。

3 また、当該取組を通し、各専門職団体においても介護福祉の専門職の役割等に向き合っていただくことで、当該役割等の認識を広める効果を得る。

⇒ 今回の成果として一番に挙げられるのが、介護福祉士の役割について、多団体がどのようにとらえているのか、また、連携を行いたかったかが、理解できた。

県内の各団体と、意見を交わす場面がなかったこと。各職能集団が連携しあうことがまず大切であり、連携と言いながらそれぞれの団体での見解が十分整理できているわけではないこと等が理解できた。

今後、各団体と意見交換を重ね、福岡県介護福祉士会自身が各専門団体との連携をとれるようにし、学術的に交流を持つ必要があるととらえた。

各職能集団から、研修等において適切な職員の派遣をしてもらえることが行える体制ができたことが最大の効果である。

【今後の課題】

1 研修参加人数について

今回、50名との規模を考えていたが、15名前後であった。このことは、コロナについて5類に変更になってはいるが、施設内では感染症対策がいまだ行われていて、施設職員の研修派遣や研修参加が難しい時期であったこと。介護人材不足のため、研修そのものに参加が少なくなっている状況があることが原因と言える。

2 多職種連携について

施設の現場においては、多職種連携の必要性は言われているものの、研修として現場のニーズや興味関心についてリンクしていない場合があるとの指摘があった。会員に対して、必要とする内容と、会員が求める内容の齟齬について今後の検討課題である。

3 マニュアル作成について

今回の参加人数から、モデルは行えたものの標準的なガイドラインの作成については、検証が難しい点が考えられた。

効果的などとは言いづらく、今後多職種連携研修を重ねていく中で、再検証を実施していく必要がある。今後の課題としたい。

補足資料2 事前・事後アンケート内容

事前アンケートへのご協力をお願い

本日は、多職種連携シリーズ研修「理学療法士」について、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。本研修は日本介護福祉会の助成事業です。次回からの参考とさせていただくのと、受講者の皆様の満足度等について日本介護福祉士会への報告・学会等への報告を行う予定です。つきましては大変恐縮ですが、以下のご質問について回答のご協力をお願い申し上げます。回答していただきました内容は、個人を特定しない方法で統計的に処理し個人情報の保護に徹します。また、記載されなくても、皆様の不利益には一切ありません。趣旨にご賛同いただきましたら、ご回答いただけますようお願いいたします。

時間は5分以内での返答を想定しています。

問1 あなたご自身について教えてください。(該当する内容の右横欄に○を付けてください。)

①性別

1. 男性		2. 女性		3. 記載しない	
-------	--	-------	--	----------	--

②年代

20代		30代		40代		50代		60代		70代	
-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--	-----	--

③介護福祉士取得年数を教えてください。

介護福祉士取得後	年
----------	---

④資格取得方法(どれか1つに○をつけてください)

1. 養成施設(専門学校)卒業	
2. 養成施設(短大・大学)卒業	
3. 実務経験3年の後、介護福祉士試験合格	
4. 実務経験3年と、実務者研修を修了し、介護福祉士試験合格	
5. 福祉系高等学校を卒業し、介護福祉士試験合格	
6. その他()	

⑤所属先で従事している施設・サービスの種類(どれか1つに○をつけてください)

1. 特別養護老人ホーム	
2. 介護老人保健施設	
3. 認知症対応型生活介護(GH)	
4. 小規模多機能型居宅介護	
5. 老人デイサービスセンター	
6. 障害者支援施設	
7. 障害福祉サービス事業所	
8. 知的障害児施設	
9. 重症心身障害児施設	
10. 救護施設	
11. 病院	
12. その他()	

⑥本研修の受講動機について(複数回答可)

①自らの希望		②上司等の勧め		③その他()	
--------	--	---------	--	---------	--

⑦研修参加の主な理由・期待について教えてください（複数回答可）

①役立つ情報を得るため	
②日頃の生活や活動に役立たせるため	
③スキルアップにつながるため	
④他の参加者との交流・情報交換が得るため	
⑤抱えていた問題・不安の解消につながるため	
⑥多職種連携について興味があるため	
⑦理学療法士との連携について興味があるため	
⑧研修日時がよかったため	
⑨その他（ ）	

問２－１ あなたの職場の理学療法士との連携の状況について教えてください。

１．十分できている	
２．できている	
３．ややできている	
４．できていない	
５．その他（該当しない・ ）	

問２－２ あなた自身の理学療法士との連携の状況について教えてください。

１．十分できている	
２．できている	
３．ややできている	
４．できていない	
５．その他（該当しない・ ）	

問２－３ 職場で実際に連携している職種について教えてください。

①理学療法士	
②作業療法士	
③看護師	
④保険師	
⑤薬剤師	
⑥介護支援専門員	
⑦栄養士・管理栄養士	
⑧福祉用具担当者	
⑨医師	
⑩その他（ ）	

問３ 介護福祉士が多職種連携における役割について、あなたのお考えを教えてください。

--

ご協力ありがとうございました。

事後アンケートへのご協力をお願い

本日は、多職種連携シリーズ研修「理学療法士」について、ご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

本研修は日本介護福祉会の助成事業です。次回からの参考とさせていただくのと、受講者の皆様の満足度等について日本介護福祉士会への報告・学会等への報告を行う予定です。つきましては大変恐縮ですが、以下のご質問について回答のご協力をお願い申し上げます。回答していただきました内容は、個人を特定しない方法で統計的に処理し個人情報の保護に徹します。また、記載されなくても、皆様の不利益には一切ありません。趣旨にご賛同いただきましたら、ご回答いただけますようお願いいたします。

時間は5分以内での返答を想定しています。

問1 本日の講義内容全般について、ご満足いただけましたか。

①とても満足	
②満足	
③やや不満足	
④不満足	

問2 (問1で「とても満足」「満足」を選んだ方) どのような点がよかったですか。(複数回答可)

①役立つ情報が得られた	
②日頃の生活や活動に役立った	
③スキルアップにつながった	
④他の参加者との交流・情報交換が得られた	
⑤抱えていた問題・不安の解消につながった	
⑥その他	

その他 「とても満足」「満足」されたことについてお聞かせください。

--

問3 (問1で「やや不満足」「不満足」を選んだ方) どのような点がよくなかったですか。(複数回答可)

①役立つ情報が得られなかった	
②日頃の生活や活動の参考にならなかった	
③スキルアップにつながらなかった	
④他の参加者との交流・情報交換ができなかった	
⑤抱えていた問題・不安の解消につながらなかった	
⑥その他	

その他「やや不満足」「不満足」されたことについてお聞かせください。

--

問4-1 今回の研修を受講し、「理学療法士との連携」がどういうものかわかりましたか？

①分かった	
②どちらともいえない	
③わからなかった	
その他	

その他 について、何かございましたらお聞かせください。

--

問４－２（問４－１で「どちらともいえない」「わからなかった」を選んだ方）その理由を教えてください

--

問４－３ 今回の研修を受講し、「多職種との連携」がどのようなものかわかりましたか？

①分かった	
②どちらともいえない	
③わからなかった	
その他	

その他 について、何かございましたらお聞かせください。

--

問４－４（問４－３で「どちらともいえない」「わからなかった」を選んだ方）その理由を教えてください

--

問５ 今回の研修を受講する「前」と「後」の、あなたのお考えの「差」についてお聞きします。

５－１：研修の前と後では、「理学療法士との連携」について、あなたのお考えに変化がありましたか？

①変化があった	
②変化はなかった	
その他	

その他

--

<問５－１の理由「変化があった」と回答した方は、どのような変化があったかを教えてください>

--

問５－２：研修の前と後では、「多職種連携」について、あなたのお考えに変化がありましたか？

①変化があった	
---------	--

②変化はなかった	
その他	

その他

--

<問 5－2 の理由「変化があった」と回答した方は、どのような変化があったかを教えてください>

--

問 6－1 本日の研修で印象に残った言葉や内容があれば、教えてください

--

6－2 本日の研修で学ばれたことを実践で取り入れることができるか教えてください。

①取り入れている	
②取り入れることができる	
②取り入れることはできない	
③その他	

その他

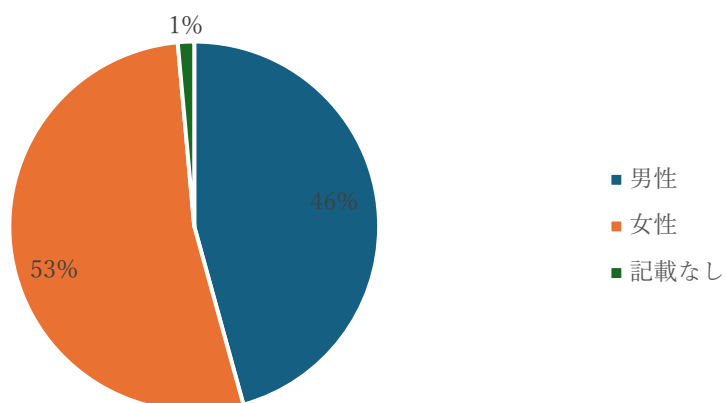
--

問 7 本日の講義について、ご意見・ご感想を教えてください。

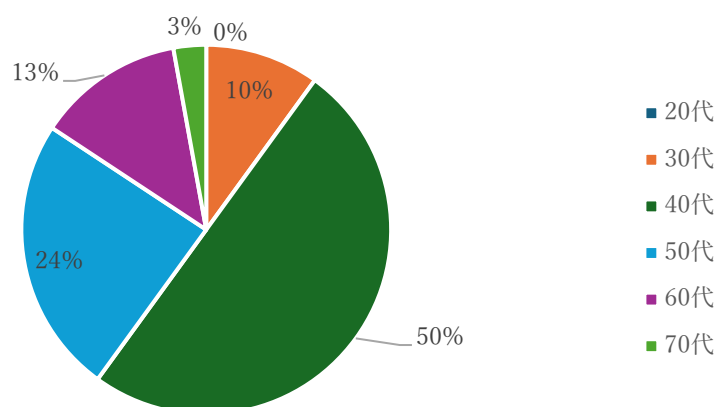
--

ありがとうございました。

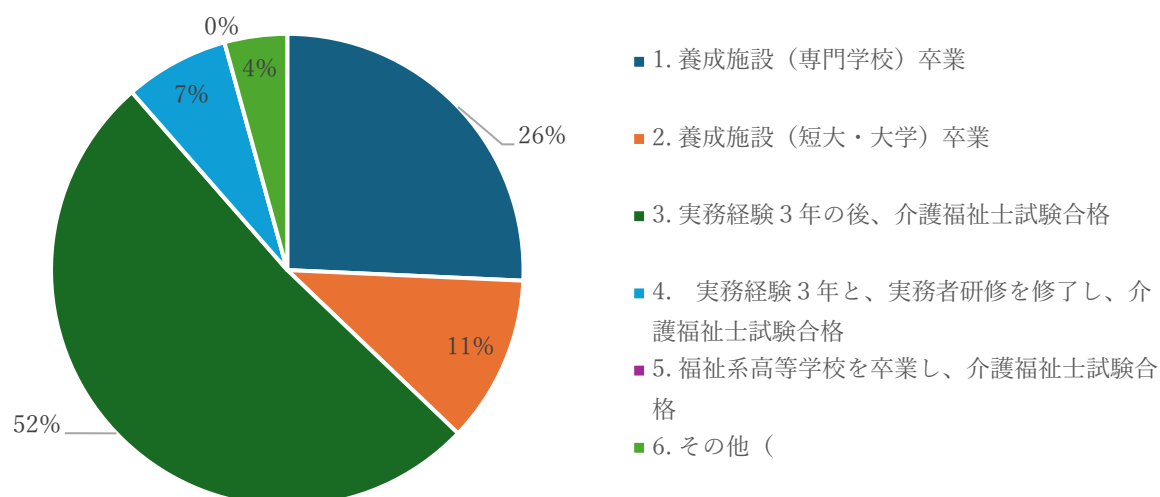
1 参加者の属性



2 参加者の年代

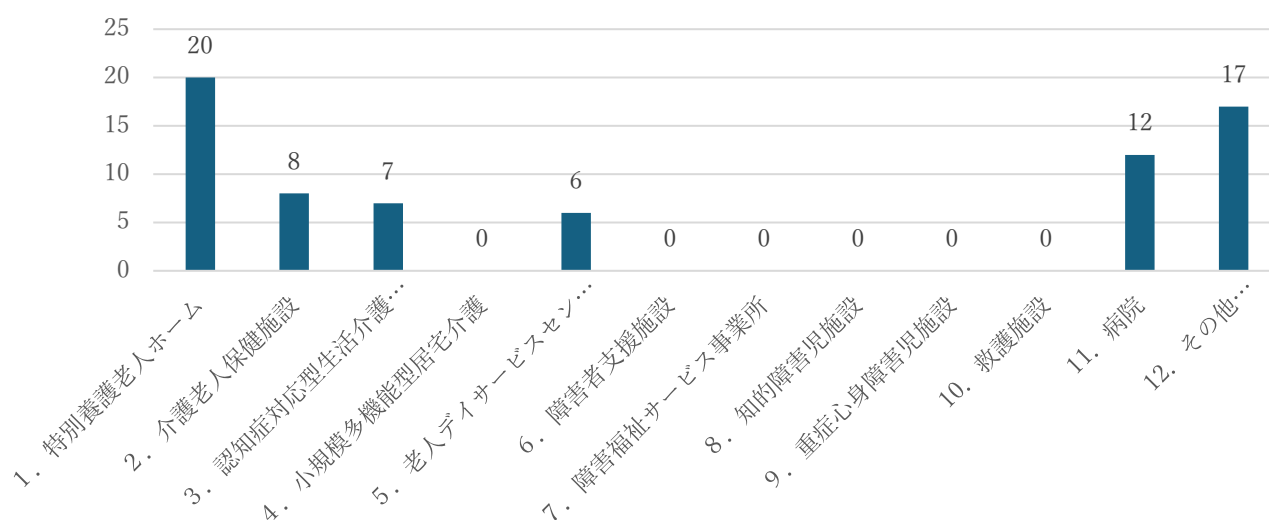


3 参加者の資格所持方法



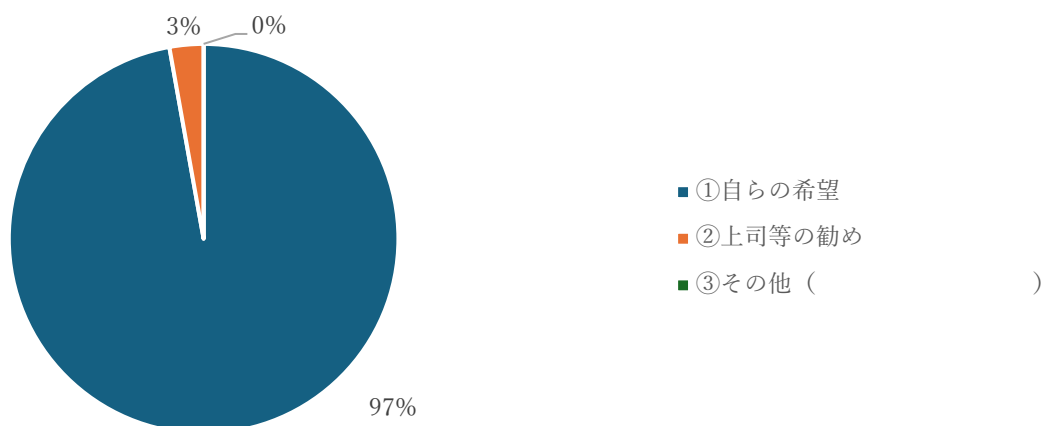
その他 3名 NHK 学園

4 所属先

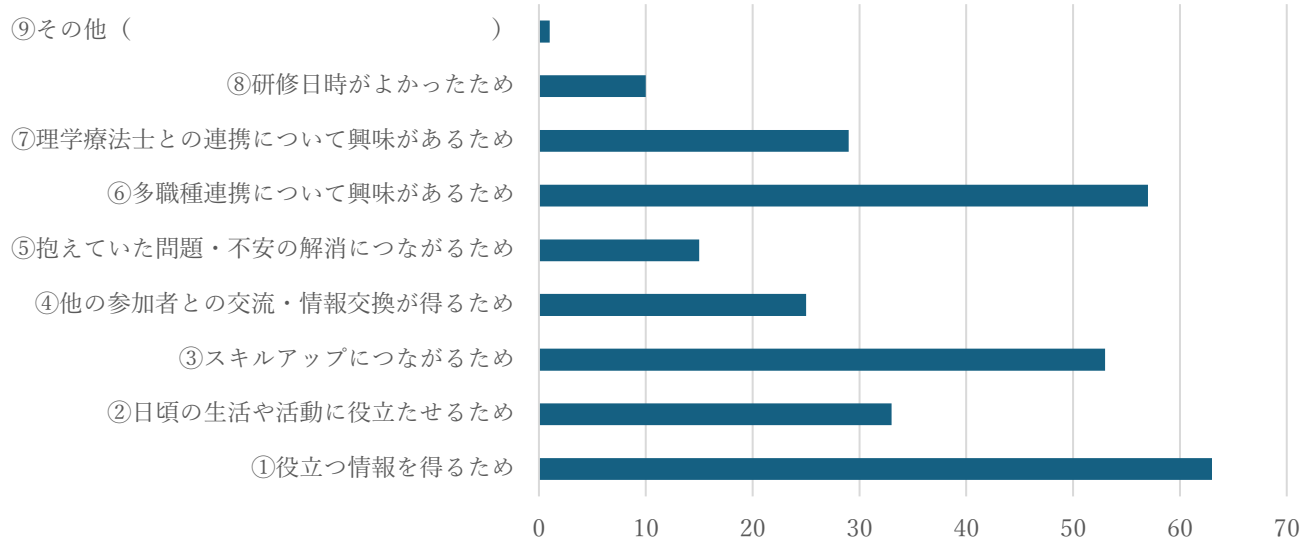


介護福祉養成校 2 居宅介護支援事業所 4 通所リハビリ 1 住宅型有料老人ホーム 3 訪問介護 1

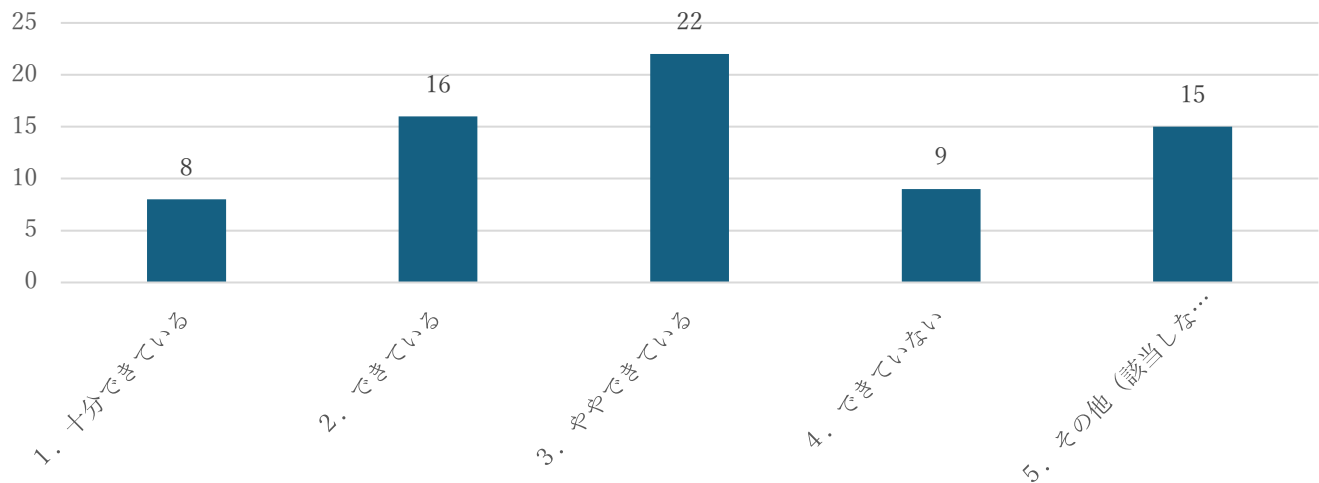
5 受講動機



6 研修参加の理由

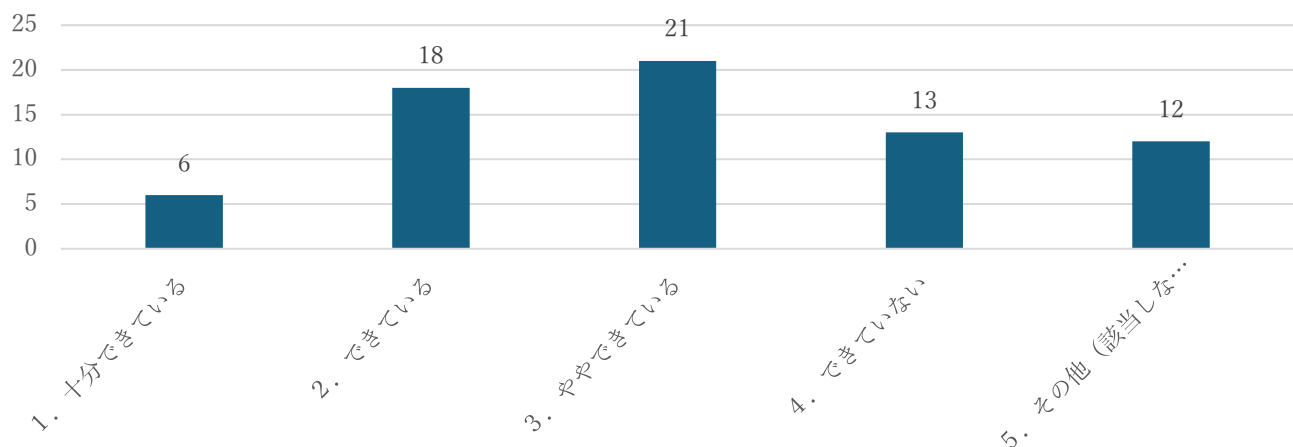


7 職場の多職種連携の状況（各回の専門職との）



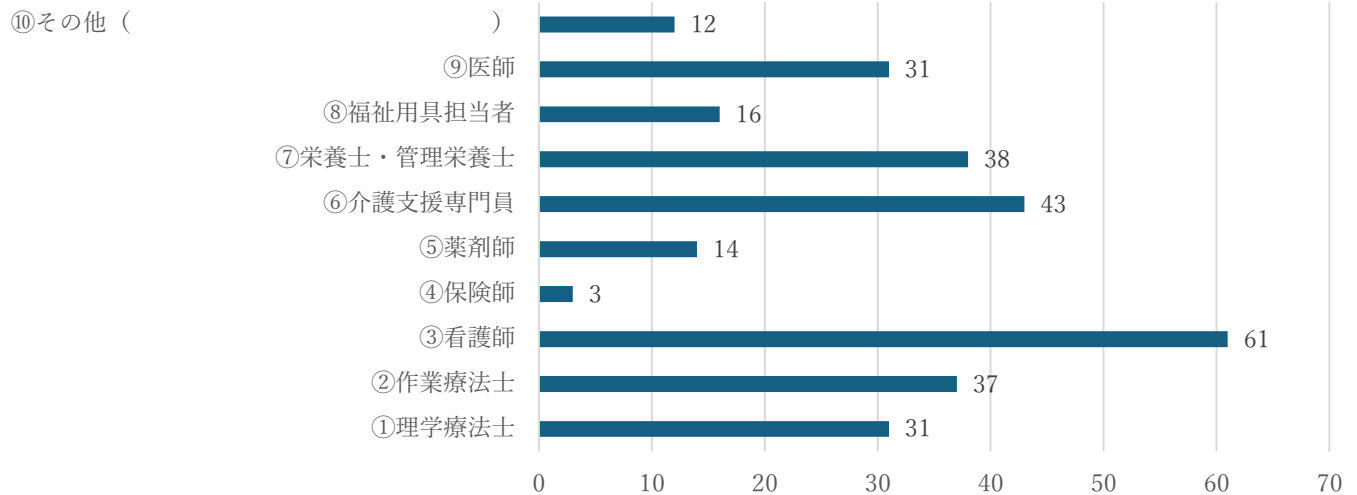
その他 病院の療養病棟のためかかわりがいい 1 実務についていない 1 かかわりがいい 1 自分自身が専門職の立場 2 名

8 あなた自身の多職種連携の状況（各回の専門職との）



その他 DrNs と連携情報共有しているため

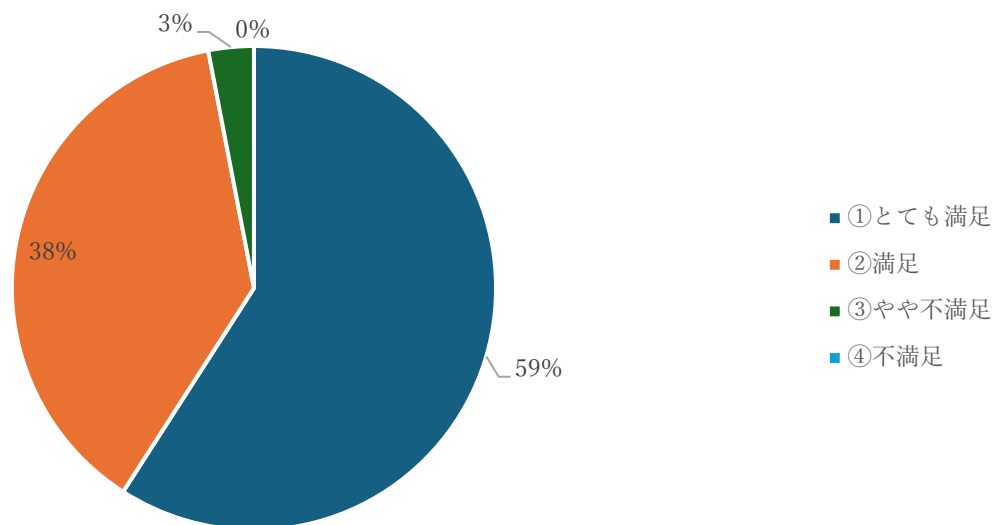
9 職場で実際に連携している職種



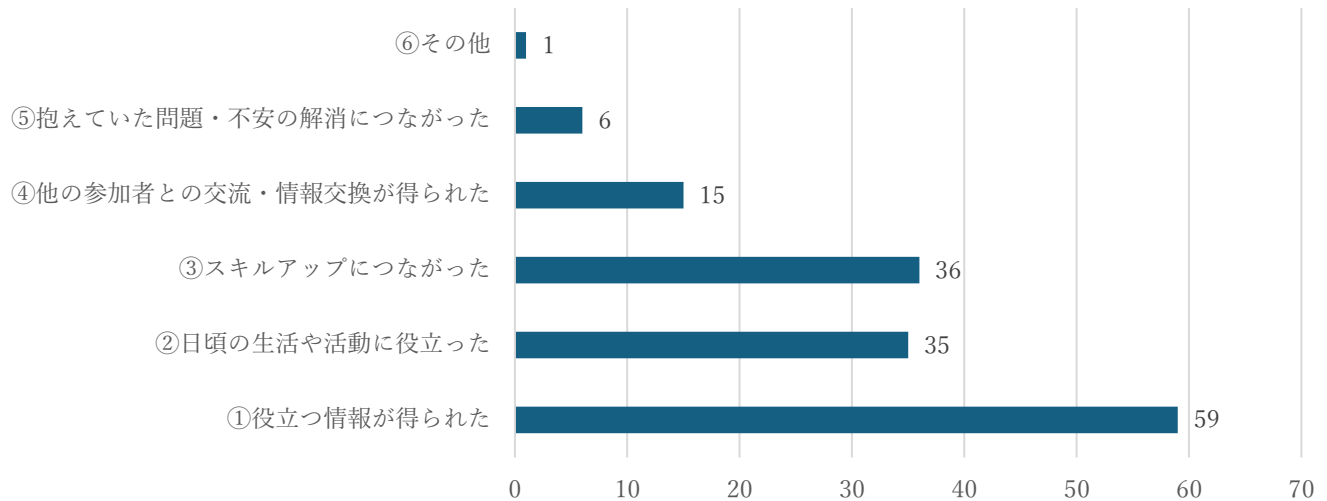
その他 ST 2 事務 1 介護福祉士 1 介護士 1 マッサージ師 1 生活相談員・調理師 1 行政 1

問 本日の講義内容全般について、ご満足いただけましたか。

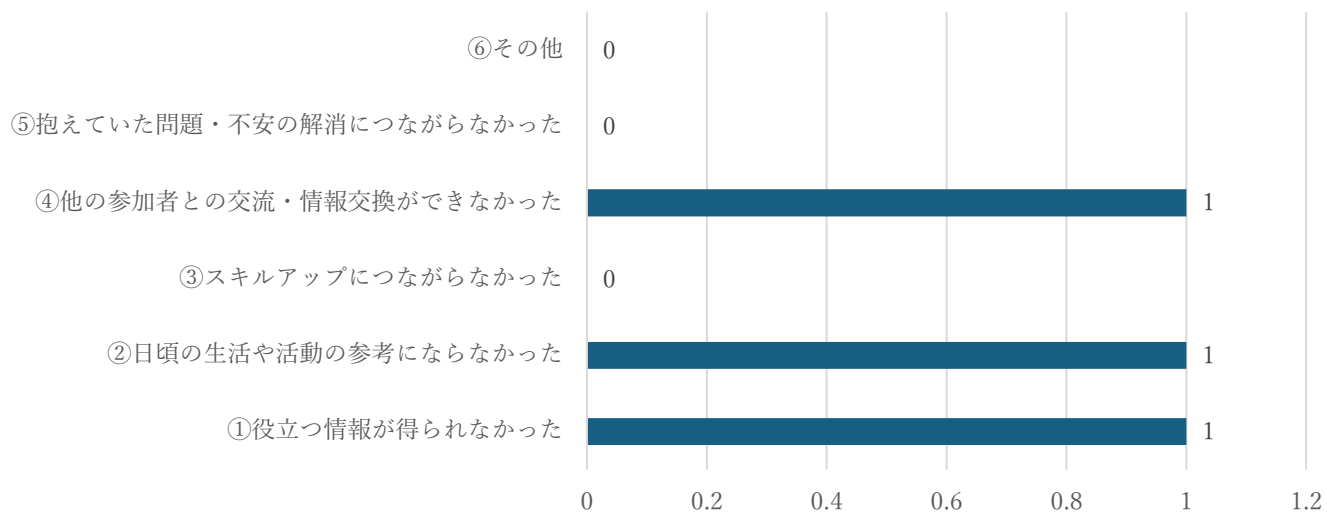
10 講義内容の満足度



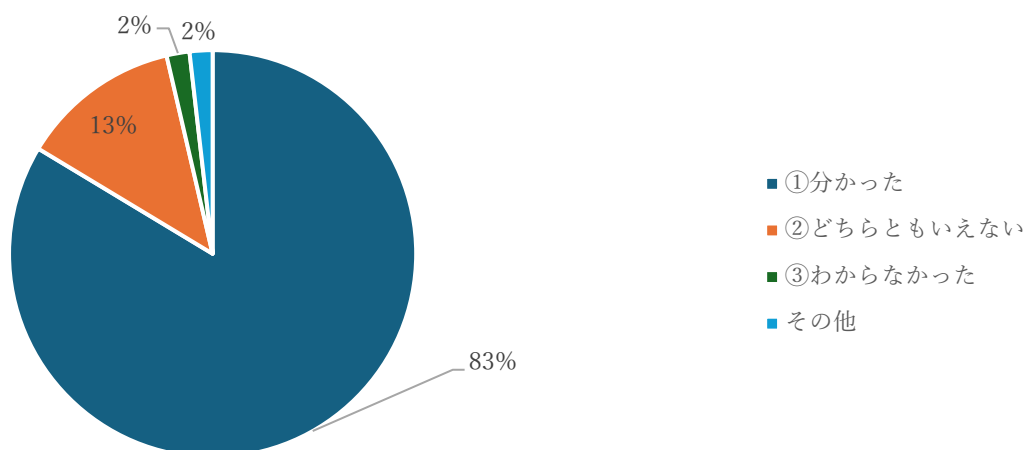
11 満足を選んだ方の理由



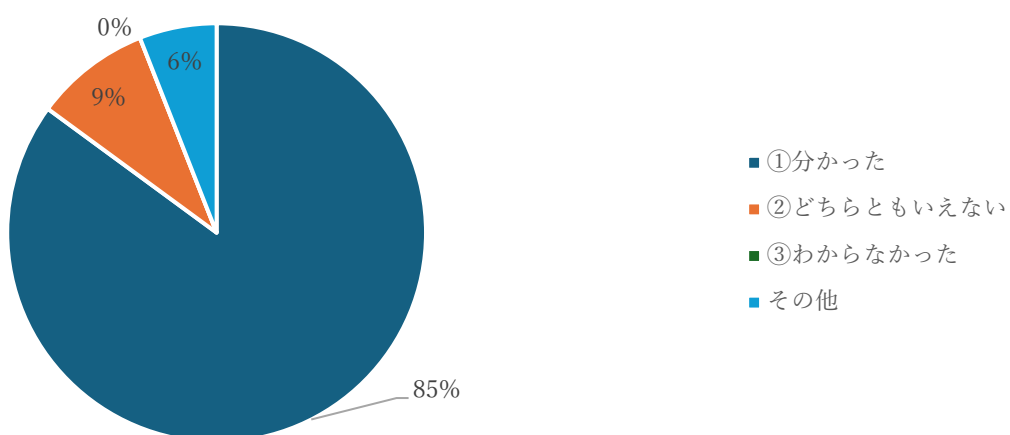
12 不満足を選んだ方の理由



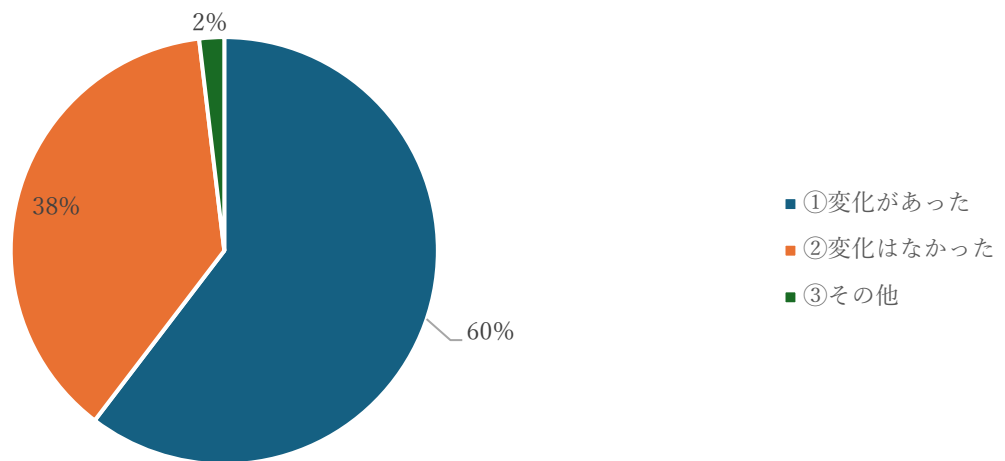
13 各回の専門職種との連携についての理解



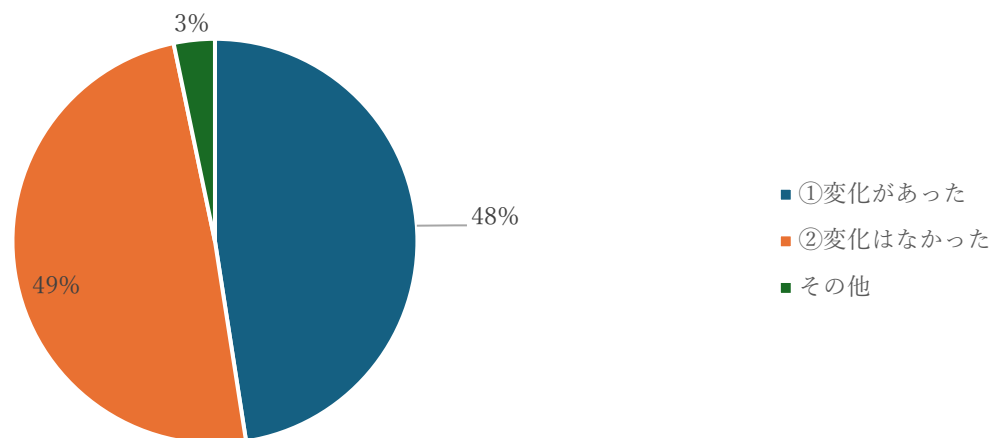
14 多職種連携についての理解



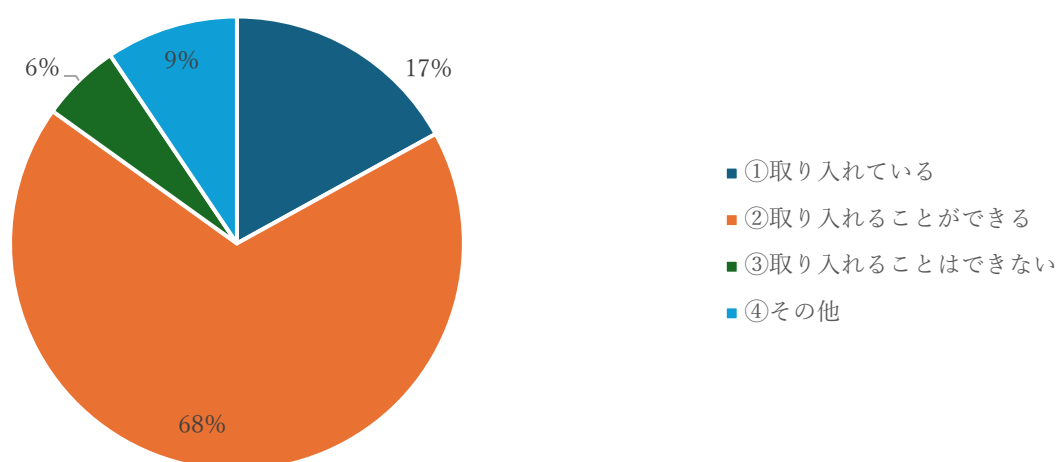
15 研修前後での各専門職連携についての意識の変化



16 研修前後での多職種間連携についての意識の変化



17 実践への取入れについて



自由記述より

講義への感謝 1 6 会場環境への要望 1 資料への要望 2

今後の講義の要望 (介護技術) 1

「身体的の異変・異常の早期発見の方法」についての内容の講義があると思っていました。聞きたかったです。介護福祉士は医療の部分の知識や経験の部分が弱いと思うので、現場の看護師と連携し、スキルアップしようと思いました。

自分が思っていた看護師の連携とは違った。制度ありきだが、具体的な連携の在りかたの内容を期待していた。(看護師に特化していない) グループワークは良かった。

自職場の振り返り・取り入れ 4

うちの施設では、結構とりいれていることが多く、やっていることが間違っていないと自信につながった

当施設では薬剤師の方を含め他職種連携が行われていて一人の入居者の方のため、全員で生きやすく、その人らしい暮らしの提案ができています。今後も引き続き行っていきたいと思います。

大変良かったです。上司に話して見学や取り入れられる部分は取り入れたいです

ケアプランを立案しても、実践しているのは立案者だけになりがち、他スタッフがケアプランを目につきやすい状況づくりに考えを改めたい。グループワークで話が膨らみもっと意見交換の時間が欲しいなと思いました。

多職種連携について 7

多職種と顔の見えるところで信頼関係を構築することが大切だと思いました。

専門職同士の連携というより、専門職の理解の研修だったかな？と思いました

いろんな考え方立場があると思いました。

グループワークを交えていろいろな考えかた、視点があることを感じるとともに、各施設の特徴がうかがえた。また介護からの情報発信が大事だとも思った。

各々が専門としていることをちゃんとする事。情報共有と情報収集の大切さ、疑問に思ったことへの確認が必要 と思いました。介護福祉士の重要性がわかりました
他職種連携についてマクロな点を含めてお話を下さり、大変勉強になりました。ありがとうございます
アセスメントの大切さをあらためて認識した

薬の知識について 4

現場が DC なのでほとんど薬剤師とのかかわりはないが、薬についての基礎知識習得に役立った
介護職は医療に関し専門ではないが、正しい薬の知識を知り理解したうえで、介護の現場で薬の大切さを助言する 必要があり参考になりました。医療につなぐ事の大切さも改めて感じました。資料がわかりやすくこういう方 法もあるんだと良い経験をさせていただきありがとうございました。
薬の基本的知識で認知症の方への薬剤師さんのアプローチについて事例でわかりやすく説明してく下さり、楽し く学ぶことが出来ました。ありがとうございました。
独居で飲み忘れ等のある方の処方を一日に 1 回に変更することで支援がしやすくなった事例良かったです。相談 しやすいかかりつけ薬剤師が増えることを期待します。

その他 2

全般的に難しくて具体的に落とし込むことが出来なかった
子どもの環境には「感動」のイベントがあるのに高齢者は。毎年一人でも「あなたの願いかなえます」といった 動きを作ろうと思いました。ありがとうございます

本事業は、日本介護福祉士会の「令和５年度 助成金事業」として実施いたしました。

日本介護福祉士会に感謝申し上げます。